



ウサギとカメ～校長先生 朝礼講話より～

学校祭が先週行われました。3年生を中心に各ブロック力を発揮し、素晴らしい学校祭でした。連休が終わり、皆さん気持ちの切り替えはできましたか。

先生は、連休中も切り替えがなかなかできませんでした。皆さんが立派に行ってくれたことを思い出し、いろいろなことを考えました。その中で、ウサギとカメの話をしてします。皆さんも知っているとおり、ウサギとカメが競走をし、ウサギが昼寝をしている間にカメに抜かれ、カメが勝つという話です。この教訓として、「コツコツがんばることが

大切」「油断はしてはいけない」「努力が一番大切」などがあります。このウサギとカメの続きの話というのが、いろいろあります。その中のひとつを紹介します。

ウサギは、負けたことが悔しくてカメに電話をし、もう一度挑戦させてほしいと再レースを申し込みます。カメは快く引き受け再レースが行われます。今度は、昼寝をとらなかつたウサギが大差をつけレースに勝ちます。次の日の新聞一面には、ウサギの喜びの様子が大きく取り上げられます。ところで、その新聞の隅に、カメが満面の笑みでインタビューに答えている記事が載ります。負けたのに、満面の笑みというのはなぜでしょうか。カメは、負けても、自己ベストが更新できたから、うれしかったのです。



この話はさらに続きがあります。今度は、カメがウサギに1対1の決着をつけようと再々レースを申し込みます。ウサギは受けて立つのですが、カメが、さらに条件をつけてほしいと申し込みます。その条件とは、コースの設定です。スタートして1kmを陸路で、その後、海を500mわたって島がゴールというコースです。さて、第3戦の結果はどうなったと思いますか。ウサギが、海岸でたたずむ中、カメの勝利？と思いきや、実は違います。最初の陸路、ウサギはカメを背負って走り、カメはウサギを乗せて泳ぎ仲良く一緒にゴールします。

この結果について、皆さんは、どう思いますか。学校祭でも、1人の力は弱いけど、全員が力を合わせることで大きな力となり、素晴らしい結果に結びつけることができました。さあ、この経験をわすれず、気持ちを切り替え、今後の生活も、がんばっていきましょう。

後期生徒会役員選挙

今週末9月28日(金)に、後期生徒会役員選挙の立ち会い演説・投票が行われます。学校祭を中心に今まで弥富北中学校を盛り上げ、リードしてくれた前期生徒会役員に続き、後期の弥富北中学校をさらに盛り上げ、より良い学校にしていこうと立候補をした候補者たちが、熱い選挙運動を繰り広げています。

